

聖書の信憑性

原田元道

聖書は神の言葉

- ・ 神の霊(聖霊)の導きによって書かれた神からの言葉
 ←「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。」(Ⅱテモテ 3:16)
 「何よりもまず心得てほしいのは、聖書の預言は何一つ、自分勝手に解釈すべきではないということです。なぜなら、預言は、決して人間の意志に基づいて語られたのではなく、人々が聖霊に導かれて神からの言葉を語ったものだからです。」(Ⅱペトロ 1:20-21)

神によって記された言葉

- ・ 聖書の多様性
 - 聖書の構成：66巻の異なる書物(旧約聖書は39巻、新約聖書は27巻)
 - 聖書の作者：40人以上(究極的には創造主なる神ただ一人)
 - 聖書の作成年：1000年以上の年月(モーセからヨハネまで)にわたって
 - 聖書の作成地域：主に近東地方(バルカン諸国・トルコ・シリア・エジプトなど)
 - 聖書の記述形式：様々なジャンル(物語、法令、詩歌、預言、知恵文学、福音書、書簡、黙示文学など)
 - 聖書の記述言語：旧約聖書はヘブライ語(アラム語が若干)、新約聖書はギリシャ語
- ・ 聖書の統一性
 - 聖書の作成理由：神のことを人に知らしめ、神と人との関係を回復する(救い)ため
 - 聖書の統一的テーマ：神が人を救う物語
 - 1) 神が天地万物(人も含む)を造った
 - 2) 人が神に従わなかったため、様々な問題が発生した
 - 3) その問題の根本解決(救い)として、神の子イエスが地上に来て十字架にかかり、死んで復活して天に昇った
 - 4) イエスが再びやって来て全てを正しく裁き、新しい天地が創造されて神の計画が完全に成される

⇒時と場所と文化(記述形式や言語)を超えた聖霊の導き

神によって守られた言葉

- ・ 聖書のオリジナル(原文)は残っていない!?
- 2000年以上前には紙が存在しない(羊皮紙、パピルスなど)
- 保存技術が未発達
- 自然災害(火事、洪水など)のリスク
 →手書きで写し取る(写本)必要性
- ・ 写本の問題点
 - 人為的ミスが生じる
 - 善意による修正
 →原文を再現できるかは写本の量と質に大きく左右される
- ・ 写本の量・・・現存する写本の数

作者	作品名	原本作成年 (推定)	最古の現存写本作 成年	原本と最古の 写本の年代差	現存写本総数
ホメーロス (Homer)	『イーリアス (Iliad)』	紀元前800 年	紀元前約400年	400年	1,800以上 2,000以下

ブログ(<https://fortheperson.jp>)もご覧ください

トゥキユディデス(Thucydides)	『歴史(History)』	紀元前460-400年	紀元前3世紀の断片(紀元900年)	200年(1,350年)	96
プラトン(Plato)	四部作(Tetralogies)	紀元前400年	紀元895年	1,300年	210
デモステネス(Demosthenes)	弁論集(Speeches)	紀元前300年	紀元前1世紀の断片(紀元1,100年)	200年(1,400年)	340
タキトゥス(Tacitus)	『年代記(Annals)』	紀元100年	前半部分：紀元850年、後半部分：紀元1050-1100年	750-950年	33
太安万侶	古事記	紀元712年	紀元1371-72年	600年	約40
舎人親王等	日本書紀	紀元720年	紀元9世紀	100年	25以上
	旧約聖書(ヘブライ語)		紀元前7世紀の断片(紀元1,008年)		約17,000(19世紀より前)
	旧約聖書(ギリシャ語)	紀元前1世紀頃	紀元1世紀頃の断片(紀元4-5世紀)	100年(500年)	約2,000
	新約聖書(ギリシャ語)	紀元50-100年	紀元130年以前の断片(紀元4世紀)	50年(300年)	5,838
	新約聖書(コプト語)	3-4世紀	3世紀頃	ほぼ無し	約1,000(多くは19世紀頃)
	新約聖書(ラテン語)	4世紀頃	4世紀	ほぼ無し	10,000以上
	新約聖書(シリア語)	5世紀初頭	5世紀	ほぼ無し	350

⇒古代の他の書物に比べて圧倒的に多い写本の数

- ・ 写本の質・・・写本された地域の文化、写本した個々人の特徴や性格に依存

【旧約聖書】

- ◇ 聖書の権威を認め畏敬の念をもって慎重に写本←改変箇所を余白に記録
- ◇ 紀元1世紀頃には現在の旧約聖書(マソラ本文)の原型(原マソラ本文)が成立
- ◇ 紀元100-300年頃にかけて写本に関する厳密なルールが確立

⇒オリジナル(原文)との差異は約1割(解釈に違いをもたらすものはごく一部)

【新約聖書】

- ◇ 西洋式本文：比較的自由に改変された写本
- ◇ アレクサンドリア式本文：原文(の写本)に忠実な写本
- ◇ ビザンチン式本文：洗練された文体をもつ写本←現存する写本のほとんど

⇒性質の異なる写本を比較できるほど写本の数が多く、オリジナルとの差異は微小

神によって広がる言葉

- ・ 約2000年経った現在の状況
 - 2015年時点でキリスト教徒の数は約23億人←世界人口(約76億人)のおよそ30%
 - 聖書の全世界での総発行部数は総計60億部以上←ギネス世界記録
 - 2017年10月現在、聖書が訳されている言語数は3312←世界の言語数(約7000)のほぼ半分
- ⇒聖書ほど多くの人々に読まれている書物は他にない

神の働きによって、神の言葉が記され、保持され、全世界に伝えられている